

## Windows データお預かり時の注意

Windows データは基本的にプリンタでの「印字」を前提に作られてきました。Windows DTP が盛んになるにつれ、各ソフトが印刷への対応を考え始めたようですが、まだまだ Mac によるプロが作成した印刷物の水準には達していないのが現状です。

ここでは、Windows データを当社へ持ち込まれる時のご注意点と出力可能な各ソフト別の注意点とをまとめています。印刷が前提の場合は、是非ご一読下さい。

なお、当社の Windows DTP 入力環境は PROX ELWIN です。この PROX ELWIN は、プロ使用のソフトのため、汎用ソフトとは一線を画しております。ハイグレードな本格組版をご希望でしたら、お手持ちのデータを PROX ELWIN 組版で仕上げることをお勧めします。

また、ローコスト・ハイスピードをお望みでしたら、ビジネスソフト **Word・Excel** などでの完全データが最適です。(ただし、OS やソフトのバージョン等により、コンピュータの環境が変わると、若干の体裁崩れが生じる場合がございます。御自身で作成のデータのプリントアウトと当社で印字したプリントアウトを必ず、ご参照ください)

●下記ソフトであるかをご確認の上、お持ち込み下さい。

Windows ビジネスソフトによる新規作成・編集・訂正作業は、基本的には致しておりませんが、簡単な手直しや、組体裁のバランスの調整などは、必要な場合によってはお受けいたします。

当社がお受けできる Windows の代表的な、アプリケーションソフトは以下の通りです。

■MS Word 98/2000

■MS Word 2002/2003

■MS Excel

■MS PowerPoint 2000

■一太郎

■Illustrator8.0

■Photo Shop6.0

■PROX ELWIN

上記以外にも、主要な各種ワープロ【東芝・ルポ/シャープ・書院/NEC・文豪】等のデータをテキスト(組み体裁を除く文字のみ)コンバートして使用できますので、ご相談ください。

### Word について

●Word 95 は当社の 98 以降で開いた場合、大幅に段落、行間、さらにはページ数が変化します。そちらの出力サンプルを参考に訂正しますが、必ずしも一致しません。

### Excel について

●Excel データを確実に印刷するには、Word に張りつけるのが、一番確実です。出来れば Word

にドラッグ&ドロップで張り付け、Word のデータにして持ち込み下さい。

## PowerPoint について

●PowerPoint は用紙設定とディスプレイによる「見え方」に特徴があります。例えば A4 で画面いっぱいに見えていても、じっさいにプリントすると余白が上下左右に各 1.5cm もついたりします。用紙を大きく使いたい場合、上記のページの設定で数値を変える必要があります。

●データは FD、MO (230M・460 M)、CD-R のいずれかにコピーしてお持ち込み下さい。

**バックアップ**は必ずお取りになり、お手元に保管しておいて下さい。

画像データがリンク設定されている場合はそれらの元データも必要です。同一フォルダにまとめてお持ち下さい。

●必ずそちらのプリンタで**出力したものを添付**して下さい。

フォントや段落、行間、ページ数等は当社のハードに取り込んだ時点で変る場合があります。オリジナルを確認するために、プリントアウト一式が必要になります。

●[「Windows データ印刷入稿確認書」](#)に記入の上、ご持参下されば受付はスムーズに済みますので、御利用下さい。

## フォントについて

お客様が使用されたフォントが当社にあれば、データは問題なく開きます。

データ作成の際、パソコンに元々入っているフォントをご利用いただいている場合は、特に問題はありません。しかし、ウェブサイトなどでダウンロードしたフォントや、購入したフォントをご使用になった場合は、当社にある類似フォントで代用させていただきます。

(入稿時にフォントをお持ちいただくことにより、ご希望の書体で再現することも可能です)

▽当社の和文基本インストールフォントは以下の通りです。

- |              |                |                |             |
|--------------|----------------|----------------|-------------|
| ●MS 明朝       | ●DF 平成ゴシック体 W3 | ●DF POP1 体 W3  | ●DF 瘦金体     |
| ●DF 平成明朝体 W3 | ●DF 平成ゴシック体 W5 | ●DF POP1 体 W5  | ●DF 魏碑体 W7  |
| ●DF 平成明朝体 W5 | ●DF 平成ゴシック体 W7 | ●DF POP1 体 W9  | ●DF 教科書体 W3 |
| ●DF 平成明朝体 W7 | ●DF 平成ゴシック体 W9 | ●DF POP1 体 W12 | ●DF 教科書体 W4 |

- DF 平成明朝体 W9
- DF 極太明朝体
- DF 超極太明朝体
- HG 明朝 B
- HG 明朝 E
- モトヤ明朝 2
- モトヤ明朝 3
- モトヤ明朝 4
- モトヤ明朝 5
- モトヤゴシック 3
- モトヤゴシック 4
- モトヤゴシック 5
- モトヤマルベリ 2
- モトヤマルベリ 3
- モトヤマルベリ 4
- MS ゴシック
- MSPR ゴシック
- MSPR2 ゴシック
- DF 特太ゴシック体
- DF 極太ゴシック体
- DF 超極太ゴシック体
- HG ゴシック M
- HG ゴシック E-PRO
- HG ゴシック E
- HG 丸ゴシック M-PRO
- HG 教科書体
- HG 創英角ゴシック UB
- HG 創英角ポップ体
- HG 行書体
- DF 平成丸ゴシック体 W4
- DF 新細丸ゴシック体
- DF 細丸ゴシック体
- DF 中丸ゴシック体
- DF 中太丸ゴシック体
- DF 極太丸ゴシック体
- DF 超極太丸ゴシック体
- DF POP2 体 W9
- DF POP2 体 W12
- DF 祥南行書体 W5
- DF 細楷書体
- DF 中楷書体
- DF 中太楷書体
- DF 太楷書体
- DF 極太楷書体
- HG 正楷書体-PRO
- DF 隷書体
- DF 勘亭流
- DF 行書体
- DF まるもじ体 W3
- DF まるもじ体 W7
- DF まるもじ体 W9
- DF 唐風隷書体 W5
- DF 唐風隷書体 W7
- DF 唐風隷書体 W9
- DF 流隷体 W5
- DF 流隷体 W7
- DF 相撲体 W12
- DF 康印体 W4
- DF 綜藝体 W5
- DF 綜藝体 W7
- DF 綜藝体 W9
- DF 麗雅宋
- DF 新宋体
- MSUI Gothic

## RGB を CMYK に変更

ワード等のビジネスソフトで作成されたデータやパソコンのモニターは3色で表現されていますが、印刷は4色で行います。画面に表現されているカラーは、基本的には RGB というカラーです。印刷するときに使用するカラーは CMYK というカラーですので、RGB から CMYK に変換を行わなくてはなりません、RGB のカラーより CMYK のカラーの方が表現できる領域が狭いので、画面上のカラーと印刷物のカラーは同じようなカラーにはなりません。このため、お客様が制作されたデータとは完全一致にはなりません。顔写真や料理の写真等、特に美しく印刷したい場合はスキャニングはこちらにおまかせ下さい。その場合もダミー写真のレイアウトはしておいて下さい。

- ホームページからダウンロードした写真やイラストをそのまま張り込んで来られる例が時々ありますが、ほとんどの場合、絶望的な仕上がりになります。(大抵が 72dpi の gif 形式)
- 写真処理に自信がなければ、デジタルカメラのデータや写真そのものを別に持ち込んで下さい。こちらでスキャニング、加工処理いたします。その場合は追加料金が必要です

写真のスキャニング 1点 700円～  
デジタルデータの色味調整 1点 500円～



完全データを入稿したにもかかわらず、「文字間がずれている」「思っていた色と違う」「枠から文字がはみ出ている」という経験を持つ方も多いのでは？ これはいずれもフォント・カラー・ソフトのバージョンなどの違いから生じる問題です。トラブルがないよう、一度データ変換を行い制作。その際、以下の2方式を使い分けています。

- データをそのまま張りつける「ピクチャー方式」
- データを一度、PDF形式にし、使用する「PDF方式」

## ページ物について

製本が前提になりますから、印刷する紙に応じて1ページと4ページまたは1ページと8ページという風に並べて組みます。これがいわゆる「面付」です。この「面付」は当社の専門機で行いますので、1ページ単位で作成し、1ファイルにまとめてお渡しください。